



新規事業特集(6～7面)

高齢者と障がい者サービス複合施設ライフ・ステージ 夢咲始動
認定こども園きりん愛育園発足/くるみ愛育園新園舎・幼児受け入れ

情報開示特集(4.5.8～11面)

令和3(2021)年度 研修報告/事業報告/地域貢献活動報告/決算報告
令和4(2022)年度 研修計画/事業計画/資金収支予算

巻頭言／「こどもまんなか社会」の構築は司令塔機能の良し悪しが浮沈を握ると共に、
子育て当事者への後押し政策の充実が喫緊の課題と考える ————— 2

ライフ・ステージ 夢咲竣工式・内覧会開く ————— 3

「特定技能介護」のベトナム、フィリピン出身者受け入れ ————— 3

岩戸ホーム、ライフ・ステージ 舞夢 ————— 3

先輩からのメッセージ ————— 4～5

小林香奈さん(東生野愛育園)/ 野口宗治さん(ライフ・ステージ 夢咲) ————— 4

「公園保育」に10組の親子が参加 認定こども園一津屋愛育園 ————— 4

地域の未就学児ら対象に「おとうさんとあそぼう」認定こども園正雀愛育園 — 4

第16回研究発表で「嚥下反射改善の試み」に最優秀賞 高槻けやきの郷スタッフ — 5

JLPT(日本語能力試験)支援講座を開催 ライフ・ステージ 舞夢「つぼみの会」 — 5

トピックス ————— 12



社会福祉法人 成光苑

2022
夏号

歩道脇の垣根を花壇に 花や木イチゴ植え収穫も

千里丘愛育園の歩道脇の垣根の木を、花壇として植栽変更工事を行い、様々な花や木イチゴ、ブルーベリーなどを植え、子どもたちや保護者、道行く人々の目を楽しませています。

5月中旬には3歳児クラスが木イチゴを初収穫「(イチゴ)できてー」と興味津々。調理員がジャムに加工しておやつ時間にクラッカーに乗せて食べ、「ちょっとすっぱい!」自家製の味も堪能できました。



「マリーゴールド」に合わせ和太鼓演奏 映画会のオープニング飾る

認定こども園正雀愛育園の5歳児(28名)は5月28日、摂津市民文化ホールで開催された「子ども映画会」(摂津市民生委員児童委員協議会主催)のオープニングで和太鼓演奏を披露しました。

コロナ禍の影響で3年ぶりの出演依頼。最近のヒット曲「マリーゴールド(作詞・作曲:あいみょん)」に合わせました。年長クラスとして初めての大舞台ですが、丁寧に



力強く演奏し拍手を浴びました。舞台を降りると子ども同士で飛び跳ねながら「上手にできた!」と喜びを表現していました。

懐かしいなあ!“昭和の純喫茶” ジャズ・サウンドも流れて

吹田竜ヶ池ホームの地域交流スペースで5月30日、「竜ヶ池レトロ喫茶」を開きました。特養、ショートステイのご入居者計15名が参加、ミックスジュース、コーヒー、手作りクレープ、どら焼などを注文されていました。「ちょっと“サテン”へ」といった気分を味わってもらったため、街の喫茶店で静かに流れているようなジャズ・サウンドを流し、ポスターのデザインもご入居者の年代に合わせ「昭和の純喫茶」をイメージが伝わるよう演出。「よく友人と喫茶店に行ったことを思い出したわ」と好評でした。



心が和むフラワーアレンジメント ご利用者19名が参加



摂津市老人福祉センターせつつ桜苑(摂津市委託事業)は5月31日、地域公益活動の「つとめ場桜」を運営する会で19名のご利用者が参加し「フラワーアレンジメント」の作業レクリエーションを行いました。色とり豊かな花材は地域の生花店から届けられ、ボランティアのサポートもあり思い思いのアレンジメントを楽しみました。フラワーアレンジメントはストレスが緩和され、ポジティブな気分になる効果があるといわれています。参加者から「気持ちや和みます」といった声が聞かれました。

〔法人理念〕

1. 個人の尊厳を旨として、その人にふさわしい最善のサービスの提供に努める。
2. 地域に開かれ、愛され、地域福祉の拠点となる施設経営を目指す。
3. 専門的知識、技術の研鑽に努め、誇れる施設を目指す。

〔サービス目標〕

1. オンリーワンとナンバーワンを目指す。
2. オンリーワンとはその施設にしかない特色の創造であり、ナンバーワンとはご利用者の処遇の満足度を高めるため、常時積極的な取り組みをすることである。

〔愛育園経営方針〕

1. 新しい時代に生きる力の基礎を培う。
2. 女性の社会参加の支援に貢献する。
3. 地域子育て支援を積極的に行い、子どもの成長を喜ぶ社会の実現に寄与する。

〔高齢者施設経営方針〕

1. 安らぎのある生活と環境を提供し、生きる喜びを創造する。
2. 介護機能の多様化を図り、ご利用者に対し、総合的なサービスの提供をする。
3. 地域の一員として、地域福祉の活性化に貢献し、超高齢社会のセーフティーネットの機能を発揮する。

〔障がい施設経営方針〕

1. その人らしく健やかにともに暮らし、希望をもって社会参加できる環境を提供する。
2. 地域の中で個々のニーズに合った専門性の高い総合的なサービスを提供する。
3. 地域にあって良かったと誰もが笑顔で過ごせる、信頼される施設運営を目指す。

【発行日】2022年7月

【発行】社会福祉法人 成光苑(理事長 高岡 國士)
〒566-0001 大阪府摂津市千里丘3丁目16-7
TEL.06-6330-3776 FAX.06-6388-9551
URL: <https://swc-seikouen.or.jp/>

★「ききょう」の由来

創業者が愛した京都府福知山市は、冷泉を利用して地元に開放するお風呂を作り、当法人として老人施設を初めて開設した地。その福知山市の花である「桔梗」から名づけられました。「ききょう」の花言葉は「変わらぬ愛」「誠実」「感謝」「気品」。

QRコードで簡単アクセス!



令和3年度 決算報告

【資金収支計算書】

(自) 令和3年4月1日 (至) 令和4年3月31日 単位:百万円

勘定科目		本部	保育園	高齢者施設	公益事業	内部消去	合計
事業活動収支	収入	38	1,354	3,688	162	△8	5,235
	支出	46	1,224	3,441	108	△8	4,811
事業活動資金収支差額		△8	130	247	55	0	424
施設整備等収支	収入	0	87	319	0	0	406
	支出	1	167	1255	39	0	1462
施設整備等資金収支差額		△1	△80	△936	△39	0	△1,056
その他の活動収支	収入	81	41	349	6	△361	116
	支出	4	96	367	17	△361	124
その他の活動資金収支差額		77	△55	△19	△11	0	△8
当期資金収支差額合計		68	△5	△708	5	0	△640
前期末支払資金残高		394	204	1,628	62	0	2,289
当期末支払資金残高		463	199	920	67	0	1,649

(保育園は認定こども園を含む)
(高齢者施設は障がいを含む)

【事業活動収支計算書】

(自) 令和3年4月1日 (至) 令和4年3月31日 単位:百万円

勘定科目		本部	保育園	高齢者施設	公益事業	内部消去	合計
サービス活動収支	収益	1	1,336	3,669	150	0	5,155
	費用	36	1,257	3,658	144	△7	5,087
サービス活動増減差額		△35	79	11	6	7	68
サービス活動外収支	収益	37	18	22	13	△7	82
	費用	18	14	17	5	0	54
サービス活動外収支差額		19	4	5	8	△7	28
経常増減差額		△16	83	15	14	0	96
特別収支	収益	81	97	403	0	△175	406
	費用	0	106	477	9	△175	417
特別増減差額		81	△9	△74	△9	0	△11
当期活動増減差額合計		65	74	△59	5	0	85
前期繰越活動収支差額		571	798	4,356	54	0	5,779
その他の積立金取崩額		0	29	63	0	0	92
その他の積立金積立額		0	70	9	0	0	79
次期繰越活動収支差額		636	831	4,351	59	0	5,878

(保育園は認定こども園を含む)
(高齢者施設は障がいを含む)

【貸借対照表】 成光苑全施設 (社会福祉事業・公益事業)

令和4年3月31日現在

単位:百万円

勘定科目		勘定科目	
科 目	金額	科 目	金額
流動資産	2,843	流動負債	1,594
		うち1年以内借入金・賞与引当金	400
固定資産(基本財産)	6,200	固定負債	1,672
その他の固定資産	4,477	負債合計	3,267
		純資産の部	
		基本金	609
		国庫補助金等特別積立金	2,741
		その他の積立金	1,026
		次期繰越活動収支差額	5,878
資産合計	13,520	純資産合計	13,520

令和4年度 資金収支予算

【資金収支計算書】

成光苑全施設 (社会福祉事業・公益事業)

単位:百万円

勘定科目		本部	保育園	高齢者施設	公益事業	内部消去	合計
事業活動収支	収入	5	1,322	3,993	164	△5	5,479
	支出	34	1,192	3,534	107	△5	4,862
事業活動資金収支差額		△29	130	459	56	0	617
施設整備等収支	収入	0	0	103	0	0	103
	支出	3	191	351	39	0	584
施設整備等資金収支差額		△3	△191	△248	△39	0	△481
その他の活動収支	収入	105	175	58	7	△163	182
	支出	0	14	172	17	△163	40
その他の活動資金収支差額		105	161	△114	△10	0	142
予備費		0	99	0	0	0	99
当期資金収支差額合計		73	0	98	7	0	179
前期末支払資金残高		444	187	1,598	69	0	2,298
当期末支払資金残高		516	187	1,696	76	0	2,476

(保育園は認定こども園を含む)
(高齢者施設は障がいを含む)

巻 頭 言



「こどもまんなか社会」の構築は司令塔機能の良し悪しが浮沈を握ると共に、子育て当事者への後押し政策の充実が喫緊の課題と考える

理事長 高岡 國士

日ごろから社会福祉法人成光苑の事業推進にあたり、皆様の多大なご協力とお力添えをいただき感謝とお礼を申し上げます。

「暑さ」への気づきを促し熱中症警戒を

例年と比べ、近畿・北陸・中四国・九州北部で6月の梅雨明けとなり、統計開始以来、最も早い梅雨明けとなりました。身体にこたえる厳しい暑さが続きますので、「暑さ」への気づきをうながし熱中症への警戒を呼びかける熱中症警戒アラートにご留意いただきたいと思っています。

2022「少子化」「子供」「高齢社会」3つの白書に思う

さて、政府は6月14日、2022年版「少子化社会対策白書」「子供・若者白書」「高齢社会白書」を閣議決定しました。その二つとつを詳細に紹介するつもりはありませんが、思うところを述べさせていただきます。

まず、「少子化社会対策白書」では、もともと社会経済状況の影響を受け、少子化が進展していくとの見立てでした。

白書の特集の中で、新型コロナウイルス感染症の影響による婚姻件数の推移が分析されています。

2020年5月の時点で「令和婚」が増え、年間の婚姻件数の増加が期待されましたが、結局婚姻件数は

増えず、翌2021年も減少の途を辿ることとなつたとされています。これは新型コロナウイルス感染拡大による国内初の緊急事態宣言(2020年4月)が出されたことによる影響とみられ、その結果、2020年の出生数が84万835人と戦後最少を更新したことの因となっていることは頷ける事実だと思います。

因みに、この「少子化社会対策白書」の担当が来年以降、内閣府から「こども家庭庁」になるそうです。

子育て当事者の視点も重要

「子供・若者白書」では、子ども関連施策の司令塔となる「こども家庭庁」創設が取り上げられています。子どもの最善の利益を第一に考え、子どもに関する取り組み・政策を我が国社会の真ん中に据えるという「こどもまんなか社会」を構築し、こどもの視点で、こどもの権利を保障し、こどもを誰一人取り残さず、健やかな成長を社会全体で後押しするための司令塔機能が特に重要になってきます。「こども家庭庁」創設後も、幼稚園は文科省、保育所は厚生労働省、認定こども園は両省共管という風になっている仕組みから見ても、司令塔機能の良し悪しが今後の子ども政策の浮沈を握ると言っても過言ではないと思います。

それと、子どもの視点は当然ですが、子育て当事者の視点、特に女性の両立支援、育児と仕事を両立する

クライフバランス、生活と仕事の調和・調整の実現が重要であるというのは私の信念のひとつであります。現在の日本で残された労働力、例としてあげれば結婚後家庭に入った女性の再生が如何にできるか、婚姻後も働きながら子どもを産み育てていける「こどもまんなか社会」の子育て当事者へ、社会全体の後押し政策の充実が喫緊の課題であると考えます。

何度も繰り返し返す、園・施設は誰のために頑張っているかの自覚を

最後に、「高齢社会白書」では、「高齢者が生きがいを持って満ち足りた人生を送るためには、身近な地域での居場所や役割、友人・仲間とのつながりを持つことが重要であり、様々な就業や社会活動への参加の機会の確保や生涯にわたる健康づくりの推進が重要」としています。成光苑の社会福祉事業の推進のため、常日頃から従事していただいているスタッフには、新年号の繰り返しになりますが、自分の園、施設はどういう人たちのため頑張っているかを自覚していただき、誇りと喜びを感じてほしいと切に願うところです。

当法人は、地域福祉の拠点として、10年後も地域の住民から「一番頼りにされる社会資源になるために、地域に信頼され、愛される園・施設の運営に努めてまいりますので、今後とも変わらぬご支援ご指導をよろしくお願い申し上げます。

ベトナム出身の3名 岩戸ホーム

岩戸ホームでは6月初めから中旬にかけ「特定技能介護（※）」としてベトナム出身のホー・ティ・ゴック・アインさんとファム・ティ・ランさんを受け入れ、また、技能実習生4期生のチュ・ティ・ト



ウ・タオさんが入職しました。この結果、同施設では技能実習生3名、特定技能介護3名（全てベトナム出身）となります。特定技能介護の2名は来日4年超で、JLPT（日本語能力試験・N3）の日本語学習から参加。目標は介護福祉士国家資格を取得すること。まずは介護職員実務者研修に参加予定です。カオ・ティ・ビックさんは技能実習生から特定技能介護へ在留資格を移行され、日本語学習講師のアシスタントとして参加されます。

フィリピンから4名 ライフ・ステージ 舞夢

一方、ライフ・ステージ 舞夢では6月9日、「特定技能介護」のフィリピン人スタッフ4名（写真）が入職しました。コロナの影響で来日が2年延期になり5月末来日したばかり。

フィリピンでは栄養士、ケアギバー（子ども、高齢者、障がい者の世話をする仕事）など専門職として就労されていました。寮での共同生活とバス通勤という新たな生活が始まり、JLPT（日本語能力試験）の勉強会や「つぼみの会」（※5面参照）に参加しながら日本の介護技術を学ばれます。しっかりサポートしていきます。



（右よりアラゴン・ダニスさん）

※「特定技能介護」は、就労を目的とした在留資格の一つ。深刻化する介護人材不足を解消するため、2019年に施行されました。1年・6ヶ月または4ヶ月の更新を行いながら、通算5年まで日本で働くことができます。

「特定技能介護」の外国人を受け入れ、介護福祉士の資格取得をめざす

高岡理事長「舞鶴市に障がい部門の拠点ができ大変嬉しい」とあいさつ（4月27日竣工式で）



社会福祉法人 成光苑が西舞鶴エリア（舞鶴市）で建設を進めていた地域共生型総合福祉施設「ライフ・ステージ 夢咲（ゆめさき）」が完成、竣工式が4月27日に行われました。高齢者（介護保険）サービスと障がい福祉サービスの複合施設で鉄骨2F建て、延べ床面積2770.19㎡。自然の温もりを感じさせる木目調デザインで、子どもから大人、高齢者のあらゆる世代を対象に、安心できるサービスを提供、地域交流スペース（1F）は災害時に一定の配慮を要する方を対象とする福祉避難所として利用する総合福祉施設を目指し

ています。竣工式では、高岡國土理事長から「舞鶴市に障がい部門の拠点を置くことができ大変嬉しく思います。スタッフ一同、精一杯努力してまいります」と挨拶。また、廣原弘（京都府知事代理（京都府中丹東保健所長）、多々見良三舞鶴市長、真下隆史舞鶴市議会副議長からご祝辞があり、有限会社E2建築事務所、金下建設の工事関係者へ感謝状が贈られました。翌28、29の両日には関係事業所一般向けに内覧会が行われ、多数来訪されました。（67面に特集記事）

高齢者、障がい福祉サービスの複合施設「ライフ・ステージ 夢咲（ゆめさき）」が完成

令和4年度 事業計画

今後の確実な成長のためBCP(事業継続計画)を着実に実践、地域で一番頼りにされる社会資源として活動する

1. 確実、効果的かつ適正な事業経営

- 財務管理の体制強化（経営状況の把握・分析）
 - ・園長検討会・経営企画会議の運営により、効果的・効率的な事業展開にも即時対応することで、収支バランスを安定させ、継続的な事業運営を図る
 - ・会計監査人や行政などの法定監査受審による、適正かつ継続的な改善を担保する組織の維持・強化
 - ・監事監査を含む内部管理体制の充実
- 人事・給与管理体制等の強化
 - ・各部門における人事・給与システムの整備充実による管理体制の強化
 - ・高齢者・障がい部門における施設長評価及び保育部門における園長に対する理事長面談の
- 業務の効率化に向けた体制の検討
 - ・各部門におけるICT化の推進（TV会議システム・勤怠管理システム・オンライン会議アプリの積極的運用による業務の効率化）
 - ・法人ネットワークのクラウド化による各部門業務の効率化の追求
- 適正な情報開示による経営の透明性の確保
 - ・ホームページ及び法人広報誌「ききょう」の発行（年3回）における法人情報の公開
 - ・第三者評価受審及び結果の開示（各施設のホームページ等から結果公表）
 - ・福祉医療機構「社会福祉法人の財務諸表等電子開示システム」を利用した情報開示等
- 法人本部体制の強化
 - ・人員配置、業務分担等の継続的見直し
 - ・改正社会福祉法に則り、社会福祉法人としての使命が果たせるよう、地域共生社会の一員として地域貢献できる法人の在り方を追求
- 新規事業
 - ・認定こども園 きりん愛育園（第二・きりん夜間の合併）の開設
 - ・くるみ愛育園の園舎増築により、3・4歳児の受入
 - ・令和3年度に引き続き、一津屋愛育園に隣接する土地の取得に向けた摂津市及びダイキン（株）との協議（一津屋愛育園の拡張及び第二コリスの建設）
 - ・ライフ・ステージ 夢咲（介護事業及び障がい福祉事業の合築）の新規開設（令和4年5月開設）
 - ・デイ・ホーム 和夢の隣地（土地付き中古住宅）を取得後、外国人スタッフ寮として整備・運用

2. 福祉サービスの質の向上に向けた活動

- 法人理念の周知の徹底
 - ・理念等を冊子化した「和顔愛語」第2版を全スタッフへの周知及び部門間の連携強化を図る
- 法人70周年記念誌に記載した「近未来10年」の展望に基づく活動の展開
- 地域の福祉ニーズに対応したサービス事業の展開及び個々のご利用者の心身状態に応じた最善のサービスを提供（専門職の配置含む）
- 研修・マニュアル等の内容を適宜見直し、より専門性の高いサービス展開を追求する
- サービスの外部監査（評価）の受審や内部監査の実施による評価・確認体制の整備
- 緊急時・非常災害時の組織体制整備
 - ・防犯や非常災害時を想定した事業継続計画（BCP）に基づくシミュレーションの実施や進捗管理ができる組織体制の整備充実
 - ・各施設における新型コロナウイルス感染拡大防止対策マニュアルの作成及び人員等体制の充実
- リスク管理体制の整備

3. 人財確保と育成・定着

- 人財確保及び育成体制等の充実や労働環境の整備に関する総合的・中長期的な視点での活動の展開
- 労働環境改善のための活動を助長することにより人財の確保・定着につなげる
 - ・人事管理や給与体系をはじめとする処遇改善に向けた諸規程を改定等整備し、
 - 法人として求人活動内容全般を見直し、人財の確保につなげる
 - ・人財確保に有効なホームページ・SNS・パンフレット等を活用した求人活動等の展開
 - 実習生等を雇用につなげる活動の展開（養成校等との関係強化、アンケート等によるニーズ把握）
 - 各種関係機関との関係構築
 - 次世代を担う幹部やスタッフの育成体制の強化
 - 高齢者部門における外国人労働者の受入・育成体制の整備
 - キャリアアップ助成金（正社員化コース等）の申請
 - 保育部門における人事システムの構築に向けた検討
 - 人財育成における部門間連携の強化（部門を跨いだ研修の実施等）

4. 法人の特性を踏まえた取り組み

- コロナ禍においても、社会福祉法人としての使命を果たすため、各施設における地域貢献事業をより活性化させ、地域における公益的な取り組みのさらなる充実・展開を図る
- 地域の福祉ニーズへの対応
 - (1) 全国・全施設における地域における公益的取り組みの充実と更なる展開
 - (2) 地域ニーズ調査委員会の設置等の体制整備による内容の充実化
 - (3) 生活困窮者にかかる支援体制への参画及び基金への提出及び中間的就労の受入
 - 大阪：「大阪しあわせネットワーク」
 - 京都：京都地域福祉創生事業「わっかプロジェクト」
 - (4) 地域の社会的援護を要する人々への支援
 - 大阪：「協力雇用主」制度による刑務所出所者の雇用
 - 各部門の種別を超えた連携による各施設の総合相談窓口設置における地域相談事業の展開
 - 災害発生時等の継続的な支援が可能となる体制の構築
 - (1) 365日24時間稼働する社会福祉施設の特性を活かし、福祉避難所の整備と物資の備蓄等を踏まえた事業継続計画（BCP）の高齢者部門全施設で策定
 - (2) スタッフの派遣・義援金の寄付等の活動を推進する
 - (3) 災害派遣福祉チーム（DWAT）への参画（大阪・京都で派遣予定スタッフを選出）
 - (4) 新型コロナウイルス感染症発生後の対応が困難な社会福祉施設等への応援職員派遣の協力施設としての登録

地域貢献

万願寺唐辛子佃煮の“下処理作業”請け負う

岩戸ホームのサポートハウスいわと（ケアハウス）は、昨年から地元食品メーカーの依頼で「万願寺唐辛子の佃煮」の“下処理作業”を有償で請け負っています。インターネット販売で品切れ続出のヒット商品です。

期間は6月～12月（月3～4回）で約60～120キロの食材、万願寺唐辛子が持ち込まれます。今年1回目は昨年の作業経験者含め計11名がヘタのカット作業。包丁の持ち方、ヘタを切る角度や長さも個性があり「切り過ぎやでえ」などと職人さんからの会話が飛び交い、休憩のお茶を飲むヒマもない集中ぶり。60キロを1時間20分で終了しました。



癒し

保護犬マハロが新しい仲間

高槻けやきの郷ショートステイ（短期入所）では3月末、NPO法人「ひらかたし地域猫☆しっぽの会」から、様々な事情で飼えなくなった“保護犬”を新しい仲間（推定4歳 メス）として迎えました。

名前はスタッフが「マハロ」（ハワイ語で感謝）と名付けました。マハロは人懐っこく穏やかな性格、施設での新しい生活にもすぐに馴染みました。マハロを迎えたきっかけは「犬の存在や癒しの効果はご入居者にもよい影響があるのでは」という犬好きのスタッフの発想から。ご入居者の施設生活は「世話をされる側」になりがちですが、マハロを「（お世話）してあげる側」にもなり、散歩・えさやり・ふれあいなどを通じてマハロと会話をしむ声が聞かれます。



障がい者支援

『ParaCoco』製品を手づくりブースに出店

ココロス（障がい福祉サービス）は5月15日、万博記念公園（吹田市）で開催された「EXPO お祭り広場リサイクルフェア（ガレージセール）」の



手づくりブースに出店、スタッフ3名が専門業者やアマチュアのブース（約500ブース）に交じって奮闘、大盛況でした。同施設の生活介護サービスご利用者がパラシュートコードを素材に開発した手づくりブランド『ParaCoco』製品で、ご利用者がボトルホルダー、ネックストラップなどの新商品も製作、袋詰めから値札付けまで準備。購入者に感謝をこめ商品の紙袋に「ありがとうございました」と書き添えました。カラフルなParaCocoブランドを知ってもらうよい機会となりました。

令和3年度 事業報告

新型コロナ・オミクロン株の大流行に対応、総力をあげ
感染予防の徹底や発生時の初期対応に取り組む

1. 確実、効果的かつ適正な事業経営

- 1. 財務管理の体制強化(経営状況の把握、分析)
 - ・園長検討会・経営企画会議の運営により、加算の取得状況の確認や経営分析を実施(新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、営業停止、臨時休園等が度々発生したことに伴う経営状況の詳細把握)
 - ・会計監査人や行政などの法定監査受審による、適正かつ継続的な改善を担保する組織の維持・強化
 - ・監事監査を含む内部管理体制の充実
- 2. 人事・給与管理体制等の強化
 - ・各部門における人事・給与システムの整備による管理体制の強化
 - ・高齢者部門施設長評価及び状況に応じた保育部門における園長に対する理事長面談の実施
- 3. 業務の効率化に向けた体制の検討
 - ・各部門におけるICT化の推進(勤怠管理システム・ZOOM等の活用、保育部門における業務支援システムの入替等による業務の効率化)
 - ・法人ネットワークのクラウド化による各部門業務の効率化の追求
- 4. 適正な情報開示による経営の透明性の確保
 - ・ホームページ及び法人広報誌「ききょう」の発行(年3回)における法人情報の公開
 - ・第三者評価受審及び結果の開示(各施設のホームページ等から結果公表)
 - ・福祉医療機構「社会福祉法人の財務諸表等電子開示システム」を利用した情報開示等
- 5. 法人本部体制の強化
 - ・人員配置等の継続的見直し(給与事務の強化)

- ・成光苑の事業活動等を振り返り、社会福祉法人としての使命が果たせるよう、地域共生社会の一員として地域貢献できる法人の在り方を追求
- 6. 新規事業及び・効率的な経営のための事業変更等
 - ・第二愛育園・きりん夜間愛育園の合併及び認定こども園への移行に向けた申請等
 - ・くるみ愛育園の園舎増築による3歳以上児の園児の受入れを段階的に実施するための準備等
 - ・一津屋愛育園隣地を買い取り、園庭拡張等について検討(土地取得に向けて市との協議を次年度も継続)
 - ・サンヒルズ紫雲館の浴室等の大規模改修(第2期分:通所介護改修)の工事及び登記完了
 - ・ライフ・ステージ 夢咲(介護事業と障がい福祉事業の合案)の新規開設に向けた申請等(令和4年5月開所)
 - ・厚デサービスセンターの土曜日閉所に向けた検討(令和4年度4月より)
 - ・せつつ桜苑住宅介護支援事業所ときりんケアプラザセンターとの合併による効率的な経営に向けた検討(令和4年4月より)
- 7. 高齢者・障がい部門における経営品質向上活動の展開
 - ・成光苑が目指す「ありたい姿」の実現に向けて実行計画に基づく活動の展開とその結果分析
- 8. 障がい部門におけるISO9001システムの導入
 - ・コロナ及び介護部門に併設する障がい福祉サービス(居宅介護・重度訪問介護、身体障害者短期入所)も含め、ISO9001認証取得のため拡大審査を受審し、認証取得

2. 福祉サービスの向上に向けた活動

- 1. 法人理念等の周知の徹底及び障がい施設経営方針の追記した「和顔愛語」第2版の発行
- 2. 法人70周年記念誌の作成・発行(「近過去10年」を評価し、「近未来10年」を展望する)
- 3. 地域の福祉ニーズ及び個々の心身状態に対応したサービスの提供
 - ・障がい部門においては、臨床心理士やSTを配置しより専門性の高いサービスを提供
- 4. 研修・マニュアル等の内容を適宜見直し、より専門性の高いサービス展開を追求する
- 5. サービスの外部監査(評価)の受審や内部監査の実施による評価・確認体制の整備
- 6. 緊急時・非常災害時の組織体制整備
 - ・防犯や非常災害時を想定した事業継続計画(BCP)の進捗管理ができる組織体制の整備充実

- ・各施設における新型コロナウイルス感染拡大防止対策マニュアルの作成及び人員等体制の充実
- 7. リスク管理体制の整備
 - ・事故発生等の要因分析の強化
- 8. 法令遵守体制の整備として各種規程の改訂及び関係法令一覧等の見直し
- 9. 全部門における顧客満足度調査の実施
 - ・調査結果に基づき、改善策を立案するとともに顧客へのフィードバックを実施。
- 10. 法人内他部門との連携強化
 - ・特に、ココリス児童発達支援と愛育園との連携を強化

3. 人財確保と育成・定着

人財確保及び育成体制等の充実や労働環境の整備に関する総合的・中長期的な視点での活動の展開
＜人財確保活動結果＞
○正規スタッフ採用者数(令和3年4月1日～令和4年3月31日の新卒者等の正規採用者)

	四大卒	短大・専門卒	高 卒	一 般	合 計
保 育 部 門	1	3	0	4	8
高齢者部門 障がい部門	3	3	2	24	32
合 計	4	6	2	28	40

- 1. 処遇改善に向けた諸規程を改訂等の整備
 - ・全部門における処遇改善交付金を活用した給与の改善(「処遇改善手当Ⅲ」の新規創設や手当額の調整等、給与規程の改訂等)
 - ・その他、働きやすい職場づくりとして、定年退職者再雇用規程、「育児・介護休業に関する規則」、保育部門就業規則の改訂を実施
- 2. 法人として求人活動内容全般を見直し、人財の確保につなげる
 - ・人財確保に有効なホームページ・SNS・パンフレット等を活用した求人活動(保育部門:採用を目的としたPR動画の作成、Instagramの導入／高齢者部門:ホームページの全面リニューアル、Facebookの導入、採用PR動画の作成、ZOOM等を利用した説明会の実施)
 - ・法人パンフレットの改訂に向けた検討
- 3. 優秀な実習生等を雇用へとつなげる取り組みの充実
 - ・実習生受入マニュアルの見直し、実習生アンケートの実施

- ・学校関係者への訪問等
- 4. 各種関係機関との関係構築、就職フェアへの参加
- 5. 次世代を担う幹部やスタッフの育成体制の強化
- 6. 高齢者部門における外国人労働者の受入・育成体制の整備
 - ・技能実習生は、令和3年度中に3名入国予定であったが、新型コロナウイルスへの水際対策強化措置が発令されたことに伴い、入国者0名
 - ・各受入施設において担当者を配置し、グローバル人財プロジェクトの日本語教育等の取組みをベースとした法人全体としての研修体制(グローバル研修)を構築

エリア	種別	人数	国 籍	今後の課題等
京都	技能実習生	10名	ベトナム	コロナによる入国制限があり、予定通りの確保が困難。技能実習生については、入退職の定数管理に留意。
	特定技能	2名	フィリピン	
大阪	留学生	8名	ベトナム	令和3年度卒業後に3名退職、残り5名のうち3名を雇用(正規2名、非正規1名)、2名は留学生3期生としてアルバイト雇用を継続

- 7. キャリアアップ助成金の申請
 - ・有期雇用労働者、短時間労働者、派遣労働者のキャリアアップを促進(正社員化コースを中心に申請し、処遇改善の取組を実施)
- 8. 高齢者部門における研究発表会(第16回)の開催(オンライン)
 - ・スタッフのモチベーションアップと他法人との交流を目的として5法人が参加しての開催
- 9. 障がい特性に応じた個別プランの充実に向けた体制構築
 - ・ココリスとライフ・ステージ 夢咲の合同研修会の実施

4. 法人の特性を踏まえた取り組み

コロナ禍においても、社会福祉法人としての使命を果たすため、各施設における地域貢献事業をより活性化させ、地域における公益的な取組みのさらなる充実・展開を図った
1. 地域の福祉ニーズへの対応

- ・全園・全施設における地域における公益的取組みの充実と更なる展開
- ・地域貢献事業推進担当者の設置等の体制整備による内容の充実化
- ・生活困窮者にかかる支援体制への参画及び基金への提出
 - 大阪「大阪いあわせネットワーク」/京都・京都地域福祉創生事業「わかプロジェクト」
- ・地域の社会的援護を要する人々への支援
 - 大阪「協力雇用主」制度による刑務所出所者の雇用の準備フォロー

- ・障害者雇用の促進(障がい者5名(常用:1名、短時間:3名、特定短時間:1名)を新規雇用)
- 2. 災害・感染症発生時の継続的な支援が可能となる体制
 - ・365日24時間稼働する社会福祉施設の特徴を活かし、福祉避難所の整備と物資の備蓄や緊急時の応援スタッフ派遣の登録等の活動を推進
- 3. 各施設の総合相談窓口設置における地域相談事業の展開
 - ・保育・高齢者・障がい各部門の種別を超えた連携による地域の相談窓口機能の強化

メッセージ



小林 香奈
東生野愛育園
2022年度入社

外国人の多い土地柄に中国語が活きてます
先輩の親身なアドバイスが心強い、悔いのない就活を
「自分のどんな所が今の仕事に生かされていると感じますか? 私は、中国語で会話ができます。子どもと接することが好きで保育の道を目指して就活をしていたところ、高校時代の友人が成光苑で保育士をしていることを知り、それがきっかけで東生野愛育園を見学しました。外国人の多い土地柄、多文化共生保育を実践しておられ、園長の説明を受け、語学力が活かせると思いました。今では「早上好(おはよう)」と挨拶することで子ども

の笑顔も見られ、保護者への連絡や会話でも信頼関係が深まっていると実感しています。学生時代は子どもとの関り方や保護者対応にも不安でした。しかし、実際の保育、困ったことがある時は、園長や先輩のみなさんからの確かなアドバイスをいたたけるし、質問や相談にも親身になって聞いてくださるので心強いです。まだまだコロナの影響が心配されますが、学生生活と就職活動に悔いのないようがんばってきたい。

「おとうさんとあそぼう」
地域の未就学児ら
対象に初開催

認定こども園正雀愛育園は6月18日、3Fホールで地域の未就学児(在園児含む)対象に「おとうさんとあそぼう」を初開催、3組の親子が参加されました。

親子教室に参加された父親から「子育て中の父親同士で関わる機会があれば」という要望から実現しました。

ふれあい遊びでは、お父さんならではの力強い動きで楽しみ、コーナー遊びではお父さん同士が会話を交わされる光景も。参加された在園児の父親からは「もっと自分から積極的に話しかけようと思います」などと次の開催を期待される声も聞かれました。



親子で楽しみながら
“保育参加”

くるみ小規模保育園

くるみ小規模保育園(0～2歳児)では5月21日、年齢別に保護者の保育参加を行いました。

0歳児は、わらべうたと離乳食のアドバイス(試食)、既製のレトルト食品と手づくりの比較では「やっぱり、手作りはおいしい」と違いをしっかりと感じてもらえました。

1歳児は運動遊び、2歳児はリズム・飯事(ままごと)など親子で楽しみながら保育園での生活の様子を実感されていました。

保護者との交流会では、卒園後の進級先などについて相談されるなど、子どもの成長や子育ての悩み、喜びも共有でき有意義な行事となりました。

認定こども園一津屋愛育園

認定こども園一津屋愛育園では5月19日、子育て支援事業として大阪モノレール南摂津駅近くの東一津屋公園(摂津市)で「公園保育」を行い、10組の親子が参加されました。



「公園保育」は毎月第3水曜日に、親同士の情報交換や子どもたちのふれあいの場として実施しており、同園の活動を知ってもらうきっかけになればというのが目的です。体操、かけっこ、親子ダンスなどが行われ、公園中に笑顔と歓声が広がります。保護者からは「子育て中のリフレッシュになりました」と喜びの声が聞かれました。

次回は体操としっぽ取りを行う予定、ご興味のある方はホームページのチェックを。



ホームページQRコード



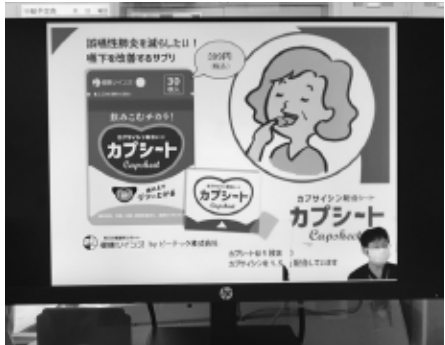
令和3年度研修報告
(保育)

	研 修 名	参加者
4月	定例園長会①	指導者
	保育基礎研修実行委員会①	指導者
	主任主幹会議①	指導者
5月	子育て支援対策会議①	担当者
	人権研修(オンライン)	全職位
	スイミング研修	初任者
6月	定例園長会②	指導者
	園長検討会①	指導者
	園長検討会②	指導者
7月	主任主幹会議②	指導者
	子育て支援対策会議②	担当者
	保育基礎研修	初任者
8月	定例園長会③	指導者
	保育基礎研修実行委員会②	指導者
	主任主幹会議③	指導者
9月	主任主幹会議③	指導者
10月	定例園長会④	指導者
11月	安全管理研修(オンライン)	全職位
12月	定例園長会⑤	指導者
	主任主幹会議④	指導者
	子育て支援対策会議③	担当者
1月	保育基礎研修実行委員会③	指導者
	園長検討会③	指導者
	定例園長会⑥	指導者
2月	子育て支援対策会議④	担当者
3月	保育基礎研修実行委員会④	指導者
	内定交歓会研修(オンライン)	全職位
	リズム研修(巡回)	全職位
随時	漢字研修(巡回)	全職位
	障がい児保育研修(巡回)	全職位
	公開保育・給食試食会	全職位

研究テーマ「嚥下反射改善の試み」に最優秀賞

高槻けやきの郷の近藤、市川両看護スタッフ

第16回研究発表会



第16回研究発表会(成光苑主催)が2月26日、オンライン開催され、高槻けやきの郷の近藤央子、市川 文 両看護スタッフが最優秀賞を受賞しました。

両スタッフが発表した研究テーマは「カプサイシン配合シートを使用した嚥下反射改善の試み〜いつまでも楽しく安全に口から食べることをめざして〜」

城 仁士審査員長(神戸大学名誉教授)から「嚥下力そのものを改善する嚥下訓練の一つとして提案できると思われる」と高く評価され「改善効果の持続期間や適切な訓練期間などより大きな改善に向かって工夫を継続して欲しい」とアドバイスされました。

JLPT(日本語能力試験)支援講座を開催

舞鶴市内に在職のフィリピン出身スタッフ対象に

ライフ・ステージ 舞夢「つぼみの会」

ライフ・ステージ 舞夢の「つぼみの会」(在日外国人の介護の日本語教室)はNPO法人舞鶴国際交流協会(MIA)の協力のもと、舞鶴市内で社会福祉法人に在職しているフィリピン人特定技能介護スタッフ11名対象(同施設のほか、社会福祉法人大樹会、同真愛の家)に、JLPT(日本語能力試験:N5～N3程度)受験に向けての支援講座を開催しました。毎月第2土曜日17時～(初回5月14日)。

同講座では主にJLPT試験対策や日本語勉強を行います。同協会を含めたフィリピン人同士の交流の機会も兼ね楽しい雰囲気で行われています。会場サポート役として、ライフ・ステージ 舞夢のフィリピン出身リーダー(原田麻里スタッフ:1986年帰化、介護福祉士国家資格取得)も通訳・アドバイザーとして参加し受講生を支えています。



令和3年度研修報告(高齢者・障がい)

	研 修 名	エリア等
4月	ファーストステージ研修Ⅰ 人事考課者研修	全体 大阪
5月	ネクストステージ研修Ⅱ①	施設別
6月	喀痰吸引研修 ファーストステージ研修Ⅱ2日間	大阪 京都
7月	ネクストステージ研修Ⅱ② ファーストステージ研修Ⅱ2日間	施設別 大阪
8月	喀痰吸引研修(大阪) ネクストステージ研修Ⅰ(オンライン)	大阪 全体
9月	喀痰吸引研修(大阪)	大阪
10月	ファーストステージ研修Ⅱ 喀痰吸引研修	大阪 大阪
11月	ファーストステージ研修Ⅱ ファーストステージ研修Ⅱ キャリアアップステージ研修Ⅱ	大阪 大阪 大阪
12月	ファーストステージ研修Ⅱ キャリアアップステージ研修Ⅱ ファーストステージ研修Ⅰ(オンライン)	大阪 京都 全体
1月	キャリアアップステージ研修Ⅱ ファーストステージ研修Ⅱ キャリアアップステージ研修Ⅰ(オンライン) ネクストステージ研修Ⅲ(オンライン)	京都 京都 全体 全体
2月	ネクストステージ研修Ⅰ(オンライン)	全体
3月	ファーストステージ研修Ⅲ(オンライン)	全体
毎月	経営品質向上活動PJ会議	全体
隔月	地域ニーズ調査委員会	エリア別

令和4年度研修計画(高齢者・障がい)

人事システムガイドの基本的な担当職務・職務責任の要件に基づき、各職階層に求められるスキルの習得及びスタッフの就業意欲の向上を目指す。また、昨年度に引き続き、コロナ禍においても継続的に研修が実施できるようオンライン等での開催も可能とする体制を構築する。

研修名	対象者・期間	目 的 ・ 内 容
ファーストステージ研修Ⅰ・Ⅱ	入職1年未満の新任スタッフ ※Ⅰ：①主に新卒者 ⇒4当初に実施 ②中途採用者対象 ⇒10月頃実施 ※Ⅱ：年3～4回地域別で実施	・ 研修Ⅰ：福祉人・職業人・組織人としての在り方、求められる人材像、ビジネススキルの基礎、マナー、法人の各種取り組みへの理解等 ・ 研修Ⅱ：法人の仕組み、活動の基礎、人権擁護、リスクマネジメント、介護技術等
ファーストステージ研修Ⅲ	ファーストステージ研修Ⅰ・Ⅱの受講者 ※Ⅲ：各施設で設定	・ 研修Ⅲ：1年間を振り返り内省と成長の促進 2年目へのステップアップ
ネクストステージ研修Ⅰ～Ⅲ	概ね2年以上の経験のある者(先輩スタッフとして新任を育成・サポートする者)	OJTの主体者として育成に貢献できるスタッフ ・ 新任職員を指導するための教授法 ・ チームでの良好な関係構築や部下指導のためのコミュニケーションスキルの習得
キャリアアップステージ研修Ⅰ・Ⅱ	※Ⅰ：ネクストステージ研修修了者～6等級で役職に就いていない新任スタッフ育成担当者 ※Ⅱ：主任・係長・施設長が推薦するスタッフ	各等級に求められる課題分析手法や知識の習得 ・ 研修Ⅰ：チーム内における部下育成担当者としての役割認識、ファーストステージプログラムの仕組みの理解と評価。 ・ 研修Ⅱ：チャレンジシートの目的理解とチャレンジシートを用いた指導育成面談技法の実践
キャリアアップステージ研修Ⅲ	※Ⅲ：施設長・部長・課長	・ 研修Ⅲ：法人本部主導で設定した研修テーマ等に基づき、管理職としての資質・見識の向上

先輩からの



野口 宗治

ライフ・ステージ 夢咲

2022年度入社

「周りをよく見ている」「ご利用者の変化に気づく長所かな」
介護の仕事のどこが楽しいかを見つけていることが職場選びのきっかけに
—自分のどんな所が
今の仕事に生かされていると感じますか？
友人からは「周りをよく見ている」と言われま
す。またまだケアワーカーとしては未熟ですが、
ご利用者の些細な変化に気づくためにも生きて
くる長所だと思っています。介護に関する知識や技
術も深めつつ、自分の今できることを頑張りなが
ら成長したいと思っています。
—学生のみなさんにメッセージを
入社するまで「介護の仕事はどんなにキツイ
のだろうか」という不安がありました。学生のみな
さんも介護現場で働いてみたいと思わないかわからない
ことも多いと思いますが、実際は、先輩スタッフ
にも支えてもらい、ご入居者との関係を築きなが
ら日々楽しく働いています。多少キツさは、何
の職種(職業)でも変わらないでしょう。介護の
どこがキツイのかではなくて、介護のどこが楽し
いのかを知りたいし見つけて欲しい。介護のど
んなところが楽しいと感じるかによつて「自分
がどここの施設なら楽しく働けるのか」を知る
きっかけにもなると思います。僕と一緒に介護の
仕事の楽しさを広げて行きましょう。

【次世代育成の出前授業など受入】

【認知症関連研修への講師派遣】

【障がい者の職場体験実習の受入】

【新規に地域ニーズ調査委員会設置】

貢献活動報告

令和3年度地域

【近隣公園で地域の親子に遊び提供】

【健康や絵本の情報通信を無料配布】

【保育士養成校からの養成実習受入】

【地域子育て担当の情報交換会参画】

高 齢 者 ・ 障 が い 部 門	保 育 部 門 ※一部、児童発達支援含む
【地域に焦点を当てた事業展開】	
・ 交通弱者の移動支援の取り組み(過疎地域有償運送)の運行(4往復/日) ・ 延べ利用者数:1099名(地域利用585名) ・ 福祉有償運送(移動困難者に対して安価での移動支援)の運行 ・ 地域行事への積極的な参加及び地域との共催による行事の実施(イルミネーション事業等) ・ 地域高齢者の居場所づくり(クラフト教室等)は、利用者を事業所内に限定して実施。 ・ リハビリ機器を利用した訓練の実施等施設資源の開	放はコロナ禍のため中止していたが、一部受入を再開 ・ 地域交流スペースの喫茶は予約制にして一部運営 ・ 車椅子や施設備品等の貸し出し ・ 地域ニーズ調査委員会の設置(新規) ・ クールスポット事業として地域交流フリースペース解放したが、新型コロナウイルス感染症拡大のため利用者なし。
【地域における福祉推進】	
・ 施設における地域の総合相談窓口の設置及びその周知 ・ 認知症あんしんサポート相談窓口、認知症カフェ等開設 ・ 認知症高齢者・障がい者等交流活動を予定していたが、コロナ禍のため中止 ・ 相談援助活動へのスタッフ派遣及び介護相談会の実施 ・ 民生委員等との連携(交流勉強会への参加等) ・ 介護職員初任者研修事業の講師派遣(京都) ・ 外部主催の認知症サポーター養成研修をはじめとする認知症関連研修への講師派遣	・ 農閑期の閉じこもり防止を目的としたサロン活動の実施 ・ 状況に応じて地域ボランティアの受入及び交流会等の実施 ・ 認知症サポーターキッズ養成講座の開講 ・ 小学生の福祉教育実習や職場体験等の受入 ・ 「小中学生対象・次世代の担い手育成事業(出前授業)」や小中学生の職場体験及び社会福祉体験学習等の受入 ・ こども110番運動への参画 ・ 介護、看護、相談援助等の専門職実習生の受入 ・ 子ども食堂は、コロナ禍のため中止
【社会的援護を要する人々への支援】	
・ 生活困窮者自立支援法に基づく中間的就労の受入(0名) ・ 協力雇用主制度による刑務所出所者の雇用に向け協力雇用主として登録(相談受付まで、受入には至らず) ・ 高齢者世帯及び生活困窮母子家庭世帯への配食サービス ・ 社会福祉法人等利用者負担軽減制度、特別地域加算減免事業、通所サービスの食費負担軽減の実施 ・ 火災による避難者の受入(高優賃にて住居等の提供) ・ 地域の高齢者からの通報への対応(24時間365日) ・ 虐待・DV避難ケース等の緊急受入体制の整備 ・ 日本財団「夢の貯金箱」(自動販売機の飲料売り上げ	のうち10円を寄付)の全施設設置 ・ 大阪しあわせネットワークへの参画・基金への拠出及び大阪全施設にCSWを配置。 ・ 生活困窮者等に対する相談支援事業及びCSWの配置・養成 ・ 京都地域福祉創生事業「わっかプロジェクト」への参画(基金への拠出等) ・ 一般社団法人福知山民間社会福祉施設連絡協議会への基金の拠出 ・ 障がい者職場体験実習の受入及び雇用の促進(新規5名)
【国際交流】	
・ 地域の在日外国人(フィリピン、中国)の雇用及び体制整備 ・ 雇用する在日外国人スタッフへの日本語勉強会(つぼみの会)等の実施 ・ 在日外国人への各種資格取得に係る申請手続きの支援	・ グローバル介護職員初任者研修の開催 ・ 介護技能実習制度の導入に当たり関連機関との情報共有等 ・ ベトナム人留学生・技能実習生の受入・育成体制の整備
【地域団体等との連携の取り組み】	
・ 市、市医師会等と連携し地域包括ケアシステムの構築(地域ケア会議への参画等) ・ 校区のPTAとの協働、自治会活動へのスタッフ派遣 ・ ボランティア団体との懇親会の開催	・ 地域の老人会・民生委員・主任児童委員・自治会長等との連携(交流会の開催等) ・ 中学校区における地域教育協議会への参加 ・ 小学校地区における関係団体との連携した行事の開催 ・ 市の保健師と連携し、講座の開催や地域の児童の身体測定等の実施
【災害支援・環境対策】	
・ 自治会等地域との総合防災訓練の実施、防災協定の締結 ・ FM舞鶴と提携し、送受信設備の施設敷地内の設置及び災害発生時の被害情報提供体制の確立 ・ 5法人間での防災協定の締結 ・ 地域の福祉避難所としての指定、防災倉庫の設置等 ・ 災害発生時のネットワークの構築 ・ 厨房委託業者との災害支援協力体制整備 ・ 大阪府・京都府災害派遣福祉チーム員(DWAT)への登録 ・ 京都府災害派遣福祉チーム員として災害対策に関する講義の実施	・ 自然災害・新型コロナウイルス発生時の業務継続計画(BCP)策定 ・ 感染症発生時における職員の相互応援に関する協定に係る派遣職員候補者の登録 ・ 一人暮らし高齢者宅の防火訪問 ・ 地域の除雪作業の支援 ・ 地域の清掃活動への参画 ・ グリーンカーテンの栽培、涼やかスポットの設置等 ・ エコキャップ・廃油等の回収 ・ 地域小学校との連携による環境支援活動(段ボール提供)
【独自の取り組み】	
・ 京都府高齢者あんしんサポートハウス(低所得者に対応した家賃設定)の運営 ・ 地域の空家の高齢者の住まいとして活用に係る体制構築 ・ 外国人介護人材発掘のための関連機関との検討会等の実施	・ 配食サービスの提供および安否確認 ・ 介護保険外での一人暮らしの高齢者への支援(緊急通院の付添、家事援助等) ・ ミニコンビニエンスストアの設置・運営 ・ 日常生活支援総合事業への参画
・ 365日型(日曜・祝日保育、年末年始)保育が実施できる体制の構築 ・ 地域の待機児解消に向けた事業展開の検討(増築等による定員増)	

